

経営比較分析表（令和6年度決算）

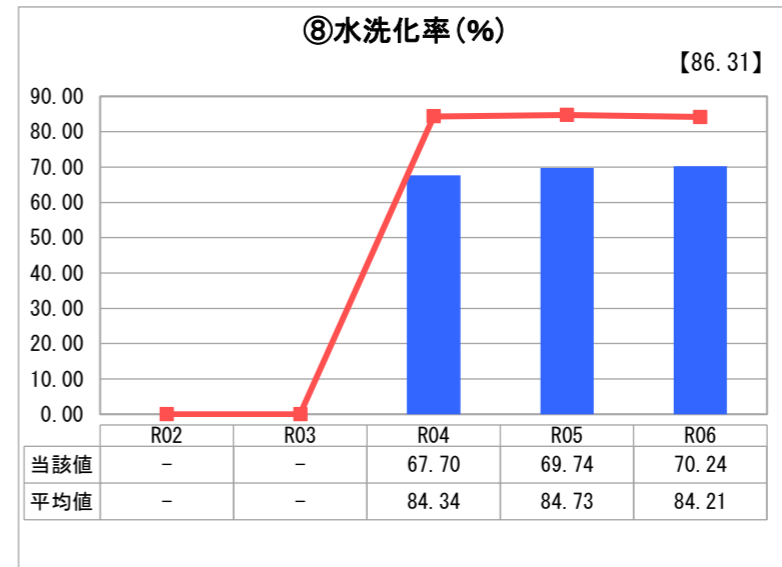
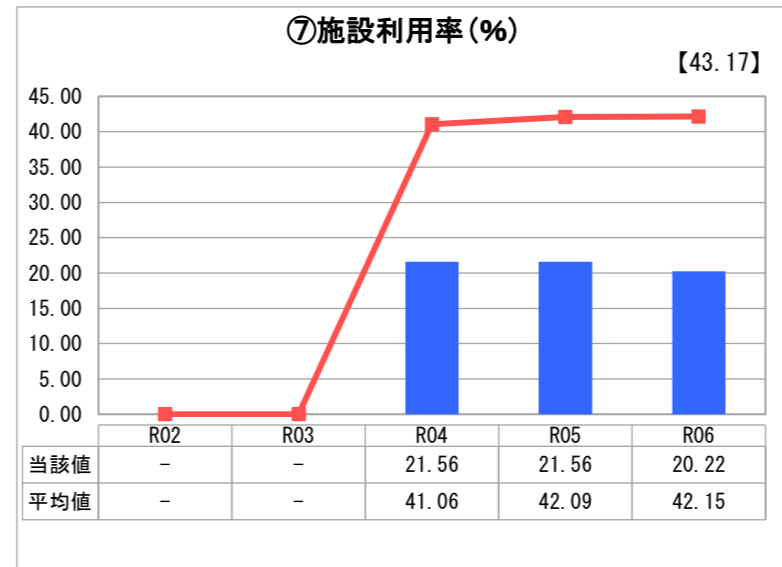
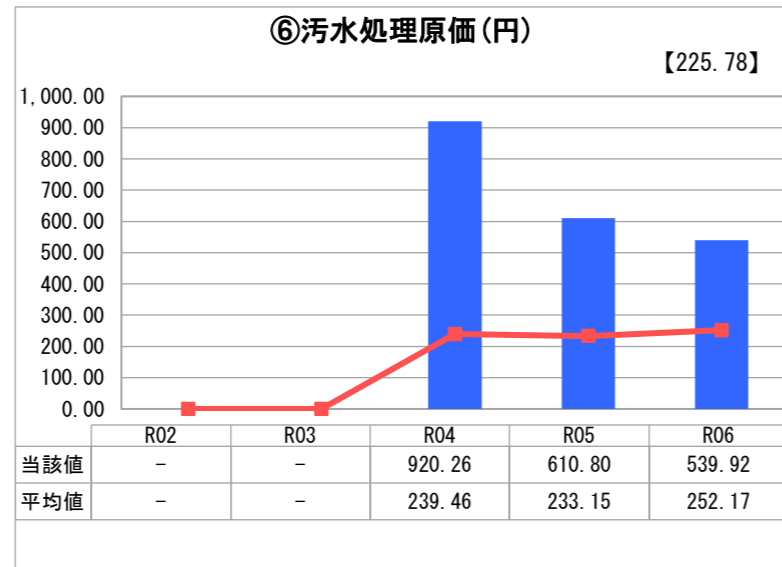
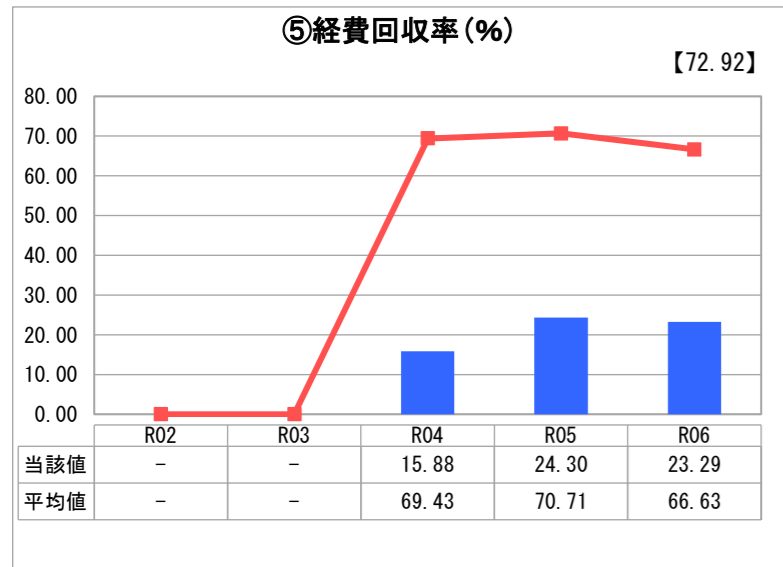
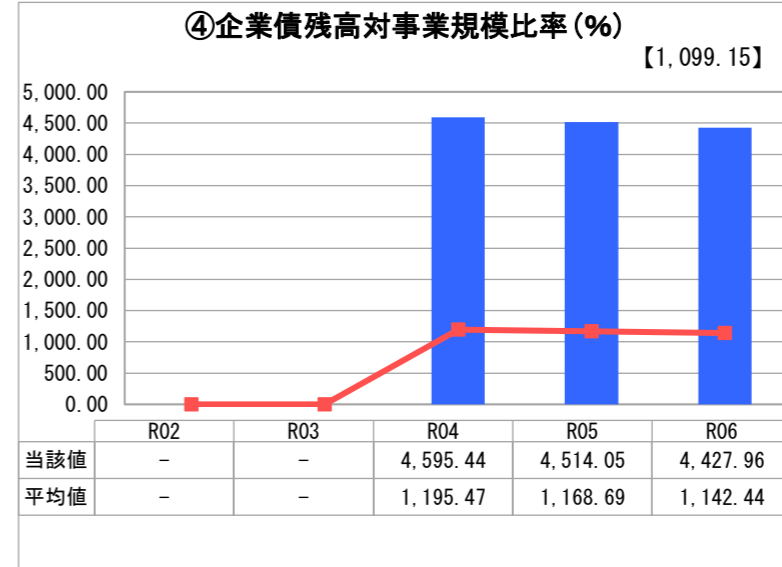
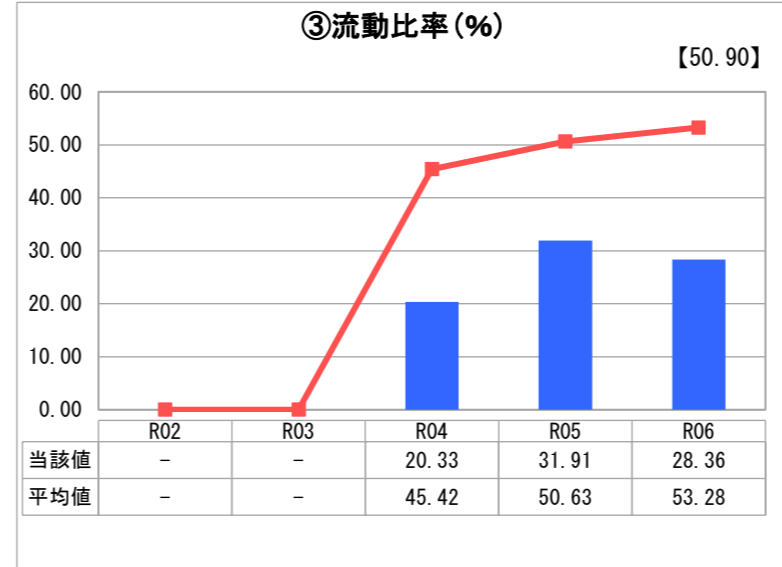
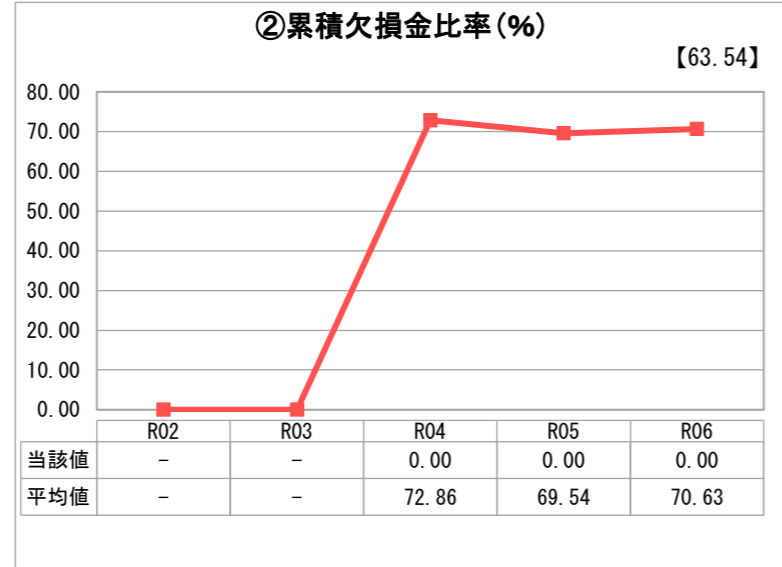
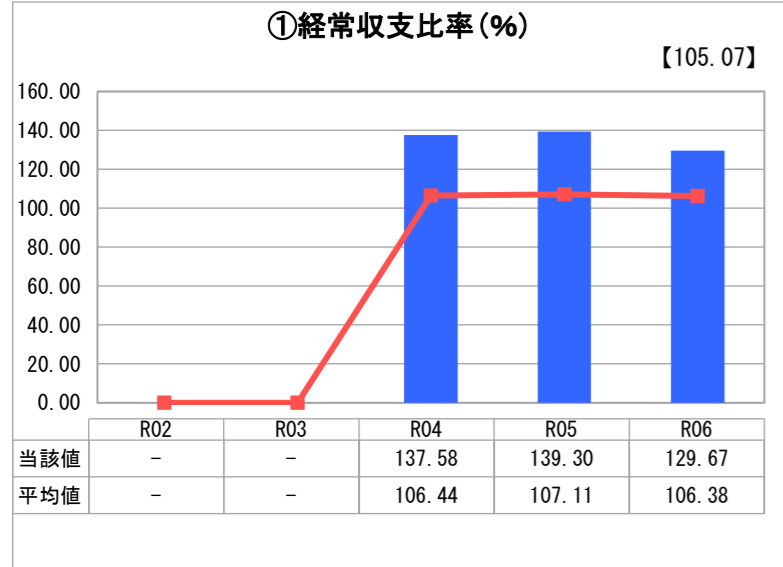
埼玉県 神川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.27	9.02	112.13	2,420

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,759	47.40	269.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,146	0.76	1,507.89

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
100%以上で推移しているが、前年度から数値は低下しており、収入を一般会計補助金に大きく依存している状況である。

② 累積欠損金比率
累積欠損金は生じていない。今後も欠損金が生じないように事業を継続していく。

③ 流動比率
現金預金が減少したため前年度の数値を下回った。類似団体平均値を下回っているため、支払能力を高めるために経営改善を行う必要がある。

④ 企業債残高対事業規模比較
類似団体平均値を大きく上回っており、企業債残高が大きく同様の傾向が継続すると見込まれる。

⑤ 経費回収率
前年度から数値が低下しており、類似団体平均値を下回っているため、下水道使用料収入の増加と経費節減に努める。

⑥ 汚水処理原価
前年度の数値から改善されたが、類似団体平均値を上回っているため、継続して効率的な汚水処理に努める。

⑦ 施設利用率
利用率向上のために住民への推進を続けていく。

⑧ 水洗化率
前年度の数値から微増したが、類似団体平均値を下回っているため、啓発活動など下水道事業を推進して接続件数の増加に努める。

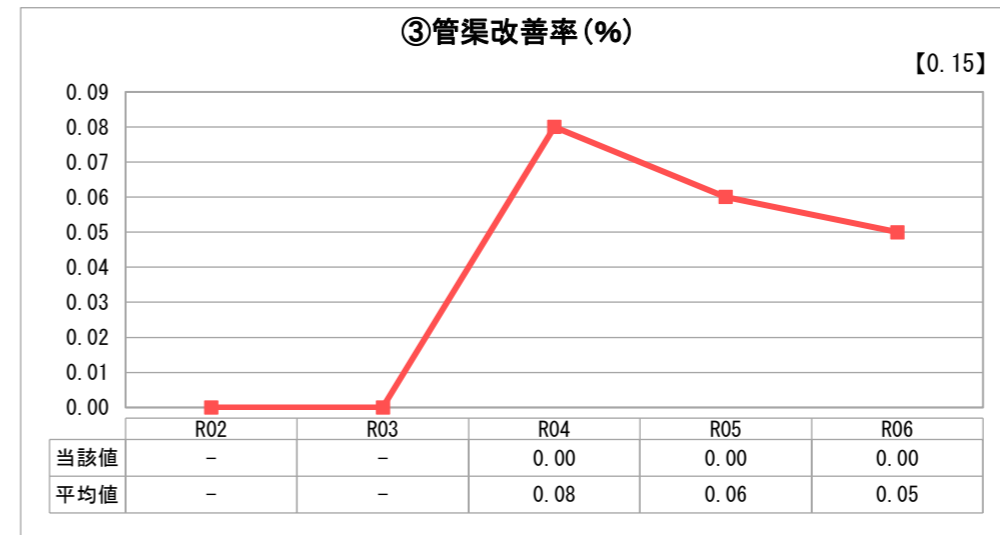
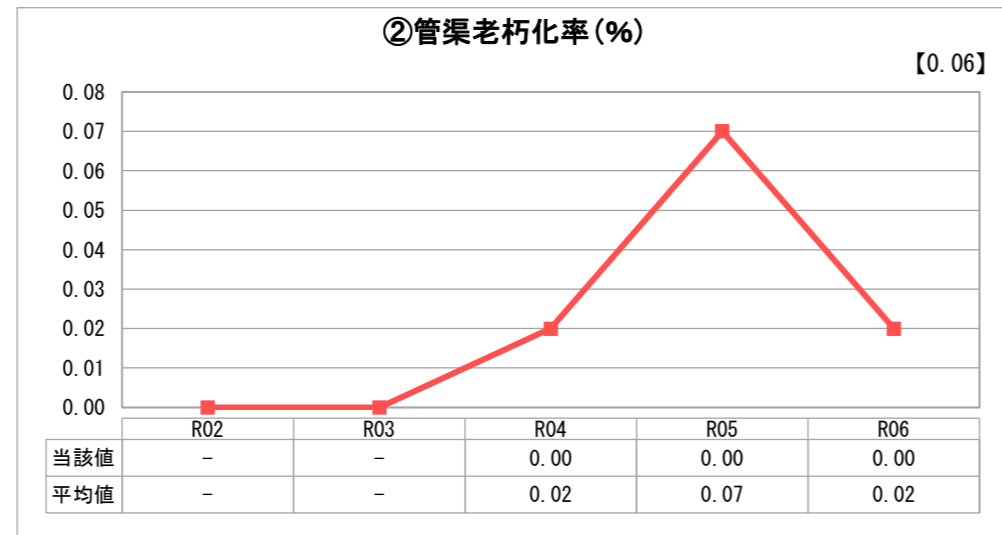
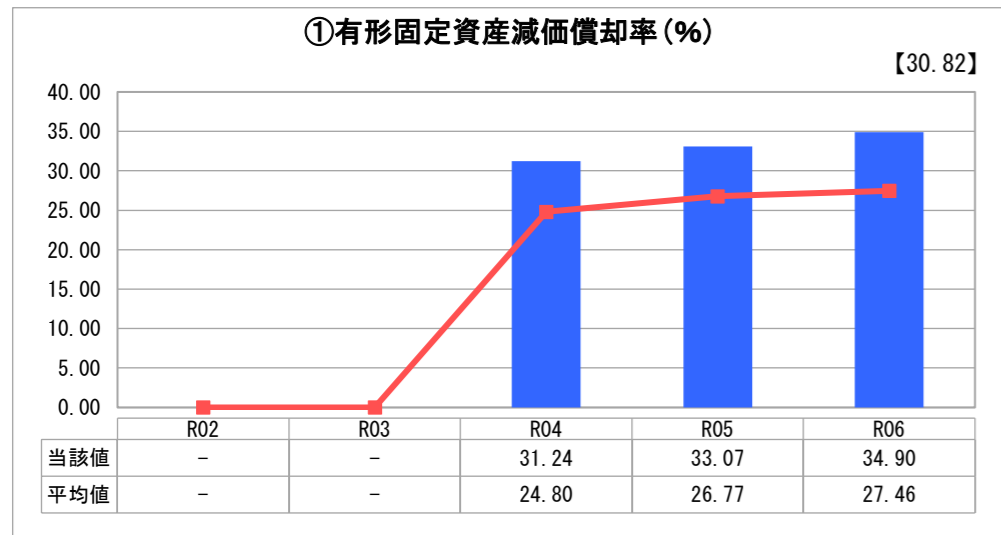
2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
浄化施設の減価償却費の額が大きいため、類似団体平均値を上回っている。近年は工事等の実績がないため、上昇傾向が継続することが見込まれる。

② 管渠老朽化率
該当なし

③ 管渠改善率
管渠改善率については、耐用年数を超えていないので数値がない。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和4年度から地方公営企業法を全部適用した。経常収支比率は100%以上で推移しているが、一般会計補助金からの収入に大きく依存している。現状としては、下水道への接続件数は頭打ちであり、下水道使用料収入のみで経営をすることが難しい状況である。

また、浄化施設の機械電気設備の大部分は耐用年数を経過しており、計画的な施設更新が必要となっている。

健全で安定した経営を実現するため、今後も下水道への接続率の向上及び下水道使用料収入の増加に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。